

# 沖縄知事選 デニー候補勝利へ全力



## 辺野古新基地が大争点 安倍官邸対『オール沖縄』

13日告示(30日投票)の沖縄知事選、辺野古の米軍新基地建設が最大争点です。

「建白書」実現をめざす「オール沖縄」の玉城(たまき)デニー候補と自・公・維新推薦の佐喜真淳候補の事実上の一騎打ちです。

デニー氏陣営は保守・革新の立場の違いをこえ『オール沖縄』の結束が強まり広がっています。

佐喜真氏陣営は、菅官房長官、自民党二階幹事長、小泉副幹事長、竹下総務会長など政権中枢が相次ぎ沖縄入り、「安倍官邸対『オール沖縄』」の対決構図で大激戦です。

## 「平和」「誇りある豊かな沖縄新時代」を

玉城デニー氏は、翁長県政を引き継ぎ、「平和」で「誇りある豊かな」沖縄・新時代をめざす政策を表明しています(左表)。

「新基地建設反対の声はすべてデニー氏へ」日本共産党は『オール沖縄』の一翼を担って、勝利のために全力をつくします。

## 日本共産党

### 玉城デニー氏の政策(ポイント) 翁長県政を引き継ぎ、発展させる

	翁長県政	デニー氏でさらに発展へ
基地問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>「建白書」の立場で辺野古に新基地をつくらせないことを県政運営の柱に</li> <li>普天間基地の即時運用停止。閉鎖・撤去を求める</li> <li>辺野古埋め立て承認撤回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「建白書」で大同団結し、普天間基地の閉鎖・撤去、辺野古新基地阻止</li> <li>県の辺野古埋め立て承認撤回を支持</li> <li>日米地位協定の抜本改定</li> </ul>
子どもの貧困対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国で初めて子どもの貧困実態調査。県庁に「子ども未来政策課」</li> <li>県独自の給付型奨学金創設</li> <li>10月から子ども医療費窓口無料(6歳まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生・高校生のバス通学無料化</li> <li>公的施設への「放課後児童クラブ」の設置</li> <li>子育て世代包括支援センターを全市町村に設置</li> <li>子ども医療費無料化の拡充</li> <li>待機児童解消と保育の質の向上</li> </ul>
経済発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客は昨年度958万人で過去最高 / 失業率改善(2012年6.8%→17年3.8%) / 県民所得(12年度197万6千円→15年度216万6千円) / 鉄道軌道構想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄らしい観光リゾート地を形成し観光客1200万人超へ</li> <li>南北縦貫の鉄軌道導入</li> <li>中小企業への総合的支援</li> <li>正社員雇用拡大助成金事業を推進</li> </ul>

(しんぶん赤旗日曜版9月16日号より)

### 沖縄県知事選にご支援を

〈郵便振替を使った知事選支援募金の送り先〉

口座番号 02060-0-37894

加入者名「日本共産党沖縄県委員会」

※通信欄に「沖縄募金」と記し、氏名、住所、職業を必ず明記してください。



参院比例予定候補  
梅村よこ



参院埼玉選挙区  
予定候補  
伊藤 岳



参院茨城選挙区  
予定候補  
大内くみこ



参院群馬選挙区  
予定候補  
伊藤たつや

日本共産党国会議員団  
北関東ブロック事務所ニュース

2018年9月・No.94 日本共産党国会議員団北関東ブロック事務所  
さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 TEL 048-649-0409

※日本共産党の見解を紹介します

根っこに  
地球環境  
気候変動

北海道地震、台風 21 号、西日本豪雨 —— 相次ぐ重大災害

# 党派超え、延長線上でない対策を

日本共産党は 6 日「21 号台風災害対策本部」(本部長・山下芳生副委員長)「9・6 北海道地震対策本部」(本部長・小池晃書記局長)を緊急に設置。国会議員や地方議員を先頭に災害救援へ連日活動しています。

17 日も小池書記局長が北海道地震の札幌市清田区、むかわ町、厚真町、安平町で被災者の要望を聞き、町長らと懇談しました。西日本豪雨災害でも広島市安芸区、呉市、岡山県倉敷市真備町、愛媛県委員会に支援センターを立ち上げ、被災者の要求実現に奮闘しています。



避難所で暮らす被災者から話を聞く(左から)真下、小池、畠山、紙の各氏ら=17日、北海道むかわ町(「しんぶん赤旗」9月18日付より)

苦難軽減に全力  
日本共産党



北海道地震、台風21号災害救援の募金を訴える志位委員長、小池書記局長ら党国会議員団(17日、東京・新宿駅西口(しんぶん赤旗)9月8日付より)

震度7の激しい揺れに襲われ大きな被害がでた北海道地震、すさまじい強風・高潮被害で、関西空港も機能不全になった台風21号、6月～7月九州、四国、中国、中部の11府県で特別警報がでる大雨がおそった西日本豪雨。かつてない規模の災害で、暮らしも、生活基盤も、突然奪われた被災者のみなさんの生活再建へ、政治の役割が求められています。

とりわけ切実なのは「住宅再建」などに向けて、現在の法律や制度の枠をこえた対策が必要です。

この夏、「災害級」の猛暑もありました。根っこに地球環境の異変、気候変動があります。まさに「災害多発国日本」の「国難」ではないでしょうか。

臨時国会を早期に召集し「復興・防災国会」として「補正予算」編成を急ぐとともに、党派をこえ英知を集めて、抜本的対応を策定する必要があります。

「復興防災国会」早期に  
召集し、補正予算を

安倍改憲許すな!